

11/8

November 8th, 2008

テクニカルツアーでは、日本の大学における農学教育の発祥の地である北海道開拓使仮学校跡（後の北海道大学農学部）と駒場農学校跡（後の東京大学農学部）を訪れました。国の基幹産業としての農業振興は富国強兵政策の遂行に不可欠であったため、何れの学校とも明治政府の肝いりで作られ、日本の大学における農学教育の草分けになりました。

芝公園にある北海道開拓使仮学校跡

北海道開拓使仮学校の歩み

明治 2年 (1869)	7月	蝦夷地を北海道と改称し、北海道開拓使を設置 (長官 東久世通禧)
明治 5年 (1872)	3月 (陰曆)	開拓使仮学校を現在の東京都港区芝公園に設置 (増上寺から土地を購入)
明治 5年 (1872)	9月 (陰曆)	開拓使女学校を設置
明治 8年 (1875)	7月 (陰曆)	札幌学校に改称
明治 8年 (1875)	8月 (陰曆)	仮学校、女学校ともに札幌に移転
明治 9年 (1876)	8月14日	札幌農学校に改称
明治 15年 (1882)	2月	開拓使制度廃止。札幌・函館・根室の三県を設置
明治 40年 (1907)	9月	東北帝国大学農科大学を設置
大正 7年 (1918)	4月	北海道帝国大学農科大学を設置



現在は、平成4年11月15日に北海道大学東京同窓会の創立50周年を記念して建立された石碑が残るだけですが、かつてこの地に北海道の開拓を目指して設立された開拓使仮学校と開拓使女学校があったことを思うと、歴史の重さを感じます。



碑文

北海道大学の前身である開拓使仮学校は、北海道開拓の人材を養成するために増上寺の方丈の25棟を購入して、明治5年3月(陰曆)この地に開設されたもので、札幌に移し規模も大きくする計画であったから仮学校とよばれた。

生徒は、官費生、私費生60名で、14歳以上20歳未満のものを普通学初級に、20歳以上25歳未満のものを普通学2級に入れ、さらに専門の科に進ませた。

明治5年9月、官費生50名の女学校を併設し、卒業後は北海道在籍の人と結婚することを誓わせた。

仮学校は明治8年7月(陰曆)札幌学校と改称、8月には女学校とともに札幌に移転し、明治9年8月14日に札幌農学校となった。

posium 2008

Technical Tour I

駒場農学校跡

今は「駒場農学碑」が残るのみですが、現在の東京大学教養学部の土地は当時ほぼすべて駒場農学校の敷地でした。駒場農学校は、明治11年に開学して以来、東京農林学校を経て明治23年(1890年)6月に帝国大学農科大学となったあと、昭和11年(1936年)3月に文京区弥生にあった第一高等学校との間で土地の交換を行い、現在に至っています。

碑文は以下の通りです。

「駒場農学園ハ明治十一年一月二十四日明治天皇親ク此処ニ開校ノ典ヲ挙ケ給ヒシヨリ始メ駒場農学校ト称シ中頃東京農林学校終ニ東京帝国大学農学部ト改メ始終我国農林畜産水産各事業ノ淵源ヲナセリ今ヤ学園ハ一層ノ発展ヲ期シ此地ヲ去テ別ニ所ヲ得タリ然レドモ吾等此処ニ業ヲ卒スル者追懐思慕何ソ勝ヘン茲ニ碑ヲ建テ永ク記念ノ標識トス 昭和十一年三月吉日 高橋偵造書」

今は「駒場農学碑」が残るのみですが、現在の東京大学教養学部の土地は当時ほぼすべて駒場農学校の敷地でした。



駒場農学校の歩み

- 明治 7年(1874) 4月 内務省内藤新宿試験場内に農事修学場を創設
- 明治 10年(1877) 10月 農学校に改称
- 明治 10年(1877) 12月 農学校、駒場野に移転
- 明治 11年(1878) 1月 明治天皇の御臨席のもとに農学校開校式が催される
- 明治 14年(1881) 12月 農学校、農商務省農業局に移管
- 明治 15年(1882) 5月 駒場農学校に改称
- 明治 19年(1886) 7月 東京山林学校と合併し東京農林学校を設置
- 明治 23年(1890) 6月 帝国大学農科大学設置：農学科・林学科・獣医学科
- 昭和 11年(1936) 3月 東京都文京区弥生の第一高等学校との間で土地を交換し移転

ケルネル田圃

駒場農学校の前身である農事修学場は、明治7年(1874)4月、内務省内藤新宿試験場内に設置されました。最初は英国から教師を招聘しましたが、日本に適した農業教育が行われなかったため、契約期間が満了した後で新たにドイツから教師を招聘しました。そのうちの一人がオスカー・ケルネルです。ケルネルは、水田を使って様々な試験を行い、水稻の施肥管理を科学的に研究して多大な成果を挙げました。



11月に訪れたので、水田にはすでに稲はありませんでしたが、ケルネルが水稻栽培技術の向上を目指して情熱を傾けた場所だけに、強く印象に残りました。



筑波大学附属駒場中学・高等学校教諭の市川道和先生にケルネル田圃を案内して頂きました。先生は、現在附属駒場中・高校生に、ケルネル田圃を使って水稻栽培の指導をしておられます。

